

平成 28 年 1 月 5 日

「沖縄県地産地消シンポジウム 2016」開催要領

～ 食と農をつなぎ、豊かな暮らしをつくる ～

1 目的

県では地域で生産された農林水産物を地域で消費する「地産地消」運動を全県的に展開し、生産者と消費者の距離を近づけ「農」と「食」と「健康」の原点を見直し、県産農林水産物の生産と消費の拡大に向けた様々な取組みを推進しています。

今回のシンポジウムでは「食と農、地域とくらしを守るため」に、改めて、①地域のまとめり、②安全・安心・高品質のこだわり、③多様な活動によるつながり等を意識した関係者の取り組み方について、議論したいと思います。

経済的側面だけではなく、心豊かなくらしと協生・協同・協奏の社会創りを目指す地産地消の可能性を認識し、地産地消推進の一助としたいと思います。

2 主催

沖縄県

3 共催

沖縄県地産地消推進県民会議

4 日時

平成 28 年 1 月 20 日（水）14：00～16：30

5 場所

沖縄県立博物館・美術館 講堂（那覇市おもろまち 3 丁目 1 番 1 号）

6 参集範囲

一般消費者、生産者、学校給食関係者、直売所、飲食店、
市町村、JA、県 他 定員 200 名程度

7 内容

(1) 基調講演

「食から見える生きる豊かさ」

パルシステム生活協同組合連合会 顧問 山本 伸司

(2) パネルディスカッション

「地産地消推進で沖縄はどう変わるか？」

◇登壇者

○ コーディネーター

フリーアナウンサー・野菜ソムリエ

沖縄野菜プロジェクト協同組合代表理事 岡田 郁子

○ パネリスト

・JA おきなわ代表理事理事長 砂川 博紀

・株式会社アメニティ代表取締役社長 伊志嶺 勲

・おきなわいちば編集長 高安 夏子

・フードバンク・セカンドハーベスト沖縄 奥平 智子

○ コメンテーター

パルシステム生活協同組合連合会 顧問 山本 伸司